

INTERVIEW



なんだこりやあ〜!?

Qどれくらいの頻度で釣行しているのですか?

私は沖釣りだけでなく、磯釣りなども大好きなので多いときは週に2回くらい行くこともあります。でも釣ってとにかくお金がかかるからお金のやりくりがホントに大変。お小遣いのほとんどを釣りにつぎ込んでしまう月もありますよ。

Qカワハギ釣りは今まで何回くらい釣行しているのですか?

釣り船のカワハギ釣りは今まで5回くらいかな? 私はレンタルボートからのカワハギ釣りが好きなんです。のんびりマイペースで釣りをして、帰りたいときに帰れるところがボートのよさですね。

Q大好きなスルメイカ釣りやヤリイカ釣りについてもっと詳しく教えて!

私がイカ釣りに力を入れ始めたきっかけは、知り合いとyaccoさんが友だちだったからです。私はyaccoさんに直接会ったことはないのですが、これから腕を磨いて、いつか一緒に釣りたいなあと思っています。スルメイカは直結仕掛けで楽しんでいます。ヤリイカは直結仕掛けを使うとバラやすいこともあり、まだたくさん釣ったことがあります。いつかどこかいい思いをしたいなあ!

IMPRESSION

乗船メモ
三浦半島剣崎松輪港
一義丸
046-886-1453
(詳細は巻末の情報欄参照)
料金=カワハギ乗合9500円(むき身付き、水別)。駐車可。ほかマダイ&イナダ、ビンアジへも

RECRUITMENT ドクモスカウト2014 募集要項
内容: 2014年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンとの拡大と女性アングラ育成のお手伝いをしていただきます。
応募条件: 自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限ります。
選考方法: 毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラがそろったところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
応募方法: WEBからの応募は、つり情報WEBサイトにある「ドクモスカウト2014」のページから。携帯からの応募はコチラさらに詳しく...



▲釣りジェンヌ主催、第二回女性だけのカワハギ釣り大会は一義丸のほか6隻の遊漁船が協力し、開催された



●25センチ前後の良型が連発し、参加者たちは大興奮!



▲今回、特別に審査員を務めた三石忍さん(右)



▲こういうポーズが似合うのも釣りガールならではの



▲船べりと座席の間にすっぽりと収まりエサ付けをする永田さん。このほうがやりやすいのだそう



▲一義丸の船中トップ3枚合計で1030グラムを釣り上げた柳内和代さん。総合2位の好成績だった

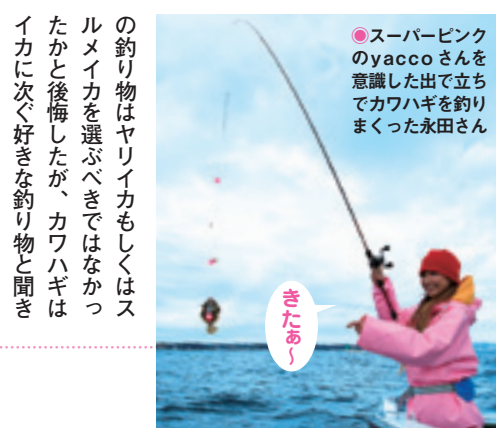


イカはもつと好き♡

カワハギ大好き♡

9TH CHALLENGER

永田 弥奈 (ながた みな)
●1994年生まれの20歳
●職業=介護士
●応募の動機と自己PR=2年半くらい前に彼氏に誘われて堤防のカサゴ&メバル釣りに行って以来、釣りの楽しさに目覚めてしまいました。ホームグラウンドは三浦半島全域で、主に磯のメジナ&クロダイ、船のスルメ&ヤリイカ、コマセダイ、カワハギ、アジ、イシダイなど様々な釣りを楽しんでいます。この企画とつりジェンヌのカワハギ大会に参加することで、たくさんの方の女性アングラとお友達になれたらうれしいです。



きたあ〜

第9回の主役はハタチのピチ釣りガール・永田弥奈さん。2年半前に彼氏と行った堤防でカサゴ&メバル釣りを体験して以来、どつぶりどつぶりと釣りの楽しさにハマり、磯釣りのメジナやクロダイ、沖釣りのスルメ&ヤリイカ、コマセダイ、ビンアジ、マグロ、イシダイ五目など、手当たり次第に釣行。今では彼氏とのデートも100パーセント釣りだそう。そんな永田さんが最も力を入れて釣っているのはヤリイカとスルメを中心としたイカ釣り。目標としているイカ釣り名人・yaccoさんのような全身ピンクの出で立ちで三浦半島長井港の船宿に足繁く釣行し、腕を磨いているそう。そんな永田さんだけに、今回

座る永田さんは良型どころかアタリすらない苦しい状況。それでも辛抱強く釣りを続けると、沖揚がりの1時間前くらいから25センチ前後のカワハギが立て続けにヒットし、計10枚で13時の納竿を迎えた。この大会は当日釣り上げたカワハギ3枚の合計重量で順位が決まるルールだが、永田さんの成績は3枚合計700グラム、参加105名中24位の健闘であった。
11月16日に訪れたのは三浦半島三崎港。この日は釣りジェンヌが主催する女性限定のカワハギ釣り大会「第二回カワハギフェスタ in 三崎港」の開催日。永田さんが選手として出場すると聞き、本誌取材班も同行させていただくことにしたのである。招待アングラの三石忍さんを含む15名の選手とともに乗り込んだ船は三浦半島剣崎松輪港の一義丸。北風幸人船長の舵取りで8時40分に三崎港を離れると、約15分のクルージングで剣崎沖の水深30メ



楽しい

▲バリバリとアタるときも、そうでないときも楽しそうに釣りをしている姿が印象的でした

トル前後へ。ここは根掛かりのリスクがあるものの、良型がよく釣れるという船長とおきのピンスポットで、仕掛けを入れた直後から体長25センチ前後の良型が船中あちこちで釣れ上がった。永田さんも負けじとカワハギを釣り上げたが、なぜか小型ばかり。中盤にも良型が連発するチャンスが訪れたが、アタリはミヨシ寄りに集中、左大ドモに

※今回は船長が雑務に追われる大会だったため本誌村上、三石忍さんで評価